

# 日常的な交流で、 信頼関係を築こう！

## 国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA班新聞

# 12・8 平和を守る千葉県集会③

## 講演「関東大震災100年・朝鮮人虐殺問題」

### 講師・金哲秀（キム・チヨルス）さん（朝鮮大学教授）

#### 事件概要の補足

この事件の朝鮮人被害者（死者）数は、当局発表の数字を大きく上回る6千661人ということとです。国家権力による真相調査妨害と危険の中で調べた数字であることが、金さんの説明で繰り返されました。（未だに否定する勢力も・・・）

#### 反復される流言・迫害と恐怖心

この事件後も、震災1周年に「朝鮮人が復讐に来るぞ」といった流言が再び出回り、極度に神経を尖らせる一触即発状態にまでなったことや、大きめの地震があるたびに、

## 映画「福田村事件」で描かれたこと

ここからは講演内では語られなかった記事です。

この事件では、朝鮮人と間違えられて大勢の日本人まで（同様の殺された）で虐殺された事実があります。それを扱ったのが、今年9月に映画化された「福田村事件」で



同様のデマが拡散され朝鮮人差別（解雇、暴力、そして虐殺）がくり返されたとのことです。自然災害時では未だにこのようなデマが、現在はSNSを使っていとも簡単に広まっている現実に驚きを隠せません。

した。福田村（現在の野田市）に、香川県から来た某の行商人グループ16名が、日本語の発音（方言）がおかしいという理由で、疑いをかけら

# 何年たっても歴史は消えない！

れ、あつという間に半数以上が殺されるという実際にあった物語です。この「あつという間」は、もう殺す側も極限状態で、「こいつらは朝鮮人だ」「殺さなければこちらが殺されるんだ」といった極めて狭い思考に陥った結果でした。また、この事件では社会主義者（労働運動家や思想家）もついでのように弾圧され、大勢が命を落としています。

この時、日本人が虐殺されたのは、千葉県内でも他に、行川事件、検見川事件等が記録に残っています。

通信手段の昨今、その是非に関して映画でも描かれていますが、当時は村役場には電話がなく、デマを確認する間もなく広まりました。通信手段、情



報量の少なさが悲劇を加速させたのは否めません。逆に現在はほぼ一人一台のスマホ普及で非常に便利になった反面、SNSによって偽情報も簡単に広まるという厄介な状況でもあります。加えて最近出てきた生成AIなどは、素人でも偽映像、偽音声まで作れてしまい、こちらは早急に厳格な規制が必要であります。いずれにしてもデマの広まる速さは昔も今も恐怖ではありません。

政府関係者は勿論、私たちひとり一人もしっかり歴史に向き合い、不信と憎悪を解消させる姿勢が大切だと改めて感じました。（終り）

☆ 日常的に交流し、歴史に向き合い、信頼関係を築くことが、差別や迫害の抵抗力となると、金さんは締めくくりました。